

医薬薬審発 0625 第 1 号
令和 8 年 6 月 25 日

各都道府県衛生主管部（局）長 殿

厚生労働省医薬局医薬品審査管理課長
（ 公 印 省 略 ）

医薬品の一般的名称について

標記については、「医薬品の一般的名称の取扱いについて（平成 18 年 3 月 31 日薬食発第 0331001 号厚生労働省医薬食品局長通知）」等により取り扱っているところです。今般、我が国における医薬品の一般的名称（以下「JAN」という。）について、新たに別添のとおり定めたので、御了知の上、貴管下関係業者に周知方よろしく御配慮願います。

（参照）

「日本医薬品一般的名称データベース」 <https://jpdb.nihs.go.jp/jan/>

（別添の情報のうち、JAN 以外の最新の情報は、当該データベースの情報で対応することとしています。）

登録番号 307-3-B6

JAN（日本名）：ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）[ペグフィルグラスチム後続 2]

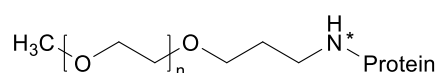
JAN（英 名）：Pegfilgrastim (Genetical Recombination) [Pegfilgrastim Biosimilar 2]

アミノ酸配列及びジスルフィド結合

MTPLGPASSL	PQSFLKCLE	QVRKIQGDGA	ALQEKLCATY	KLCHPEELVL	50
LGHSLGIPWA	PLSSCPSQAL	QLAGCLSQLH	SGLFLYQGLL	QALEGISPEL	100
GPTLDTLQLD	VADFATTIWQ	QMEELGMAPA	LQPTQGAMPA	FASAFQRRAG	150
GVLVASHLQS	FLEVSRYVLR	HLAQP			175

M1：PEG 化部位

ポリエチレングリコールの結合様式



* メチオニン残基の窒素原子

C₈₄₅H₁₃₃₉N₂₂₃O₂₄₃S₉（タンパク質部分）

ペグフィルグラスチム [ペグフィルグラスチム後続 2]（以下、ペグフィルグラスチム後続 2）は、遺伝子組換えヒト顆粒球コロニー刺激因子の類縁体であり、N 末端にメチオニンが結合し、1 本のメトキシポリエチレングリコール（分子量：約 20,000）がリンカーを介して結合している（PEG 結合部位：M1）。ペグフィルグラスチム後続 2 は 175 個のアミノ酸残基からなる PEG 化タンパク質（分子量：約 40,000）である。

Pegfilgrastim [Pegfilgrastim Biosimilar 2] (Pegfilgrastim Biosimilar 2) is a recombinant human granulocyte colony-stimulating factor analog in which methionine is attached to N-terminus, to which a methoxy polyethylene glycol (molecular weight: ca. 20,000) is bound via linker (pegylation site: M1). Pegfilgrastim Biosimilar 2 is a pegylated protein (molecular weight: ca. 40,000) consisting of 175 amino acid residues.

※ JAN 以外の情報は、参考として掲載しました。